



可部地区社会福祉協議会だより

121号

編集発行
可部地区社会福祉協議会
広報部会
印刷所 可部印刷(株)

福祉 あげぼの

皆さんは「防災士」をご存じですか。防災士とは、日本防災士機構が認証する、市民が行う防災活動に十分な意識、知識、技能を持った、地域社会の防災活動のリーダーです。

広島市では、先の土砂災害の教訓を受け、平成27年度から32年度にかけて、約950名の防災士を養成することを目標にしています。

この市の行う防災士養成講座を受講され、このたび見事防災士の資格を取られたのが、緑ヶ丘二区の川本勇二さん。まだなじみの薄い防災士について、話をお聞きました。

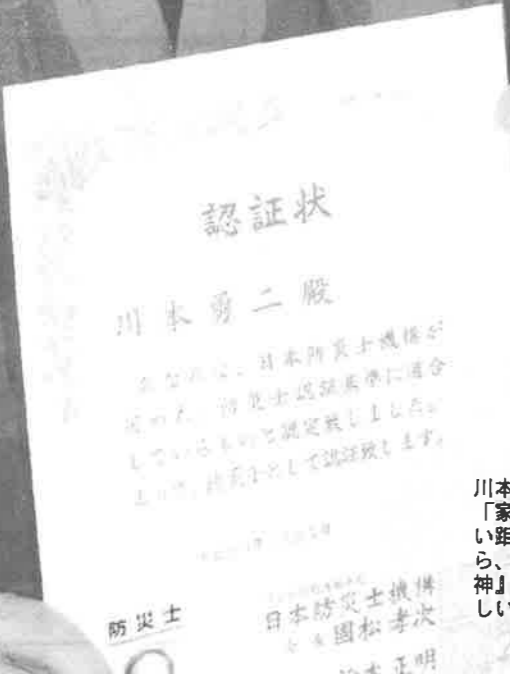
民間出身で可部では初めての防災士。防災士とは、日本防災士機構が2004年設立して認証する資格。元消防士や消防団員、長年自主防災に携わってきた人など、比較的防災活動に詳しい人が資格を取得してきたそうです。川本さんは、昨年自主防災会に入ったばかりの、いわばまったくの素人。地区の会長さんに勧められて養成講座を受ける

ことにしたものの、まず送られてきた防災士教本の分量にビックリ。約340ページのある教本を読み込み、レポートを提出、その後みっちり2日間の講座講習を受け、講座の最終日には資格試験という、聞くだ

けでハードな講座を突破し、みごと防災士になられました。民間出身者では可部では初めての防災士の誕生です。(中面に続く)

川本勇二さん。一級建築士として長年活躍してこられました。「家庭、地域、職場の『向こう三軒両隣』で、普段からほどよい距離感で隣人に関心を持ち、困っているな、変だなと思ったら、いつでも近くにいる人が声をかけ助け合うのが『近助の精神』。これからはずっと住みたい安全・安心のまちであってほしいですね。」

いざというときの地域の防災リーダー 可部民間第一号「防災士」誕生



おくやみ

次の方々に香料をお供えし、謹んでお悔み申し上げます。

(平成28年8月26日～平成29年2月28日現在)

- 沖野 シゲ子様 可部8丁目
- 坂本 正夫 様 可部3丁目
- 田中 義行 様 可部3丁目
- 野川 廣子 様 可部東2丁目
- 武永 照基 様 可部9丁目
- 川口 隆 様 可部3丁目

編集後記

一川初子
先日、テレビや新聞で「余命宣告を受けた。10億円贈りたい。」という報道を見た。世の中には「うまい話し」などというものは無いと決まっている。そんなに簡単に大金を儲ける方法などあるはずがない。あの手この手の特殊詐欺で被害に遭う。やはり一人で決めないで相談できる人、それには隣近所と仲良くしなければと思った。

香川和子
広島ではこの冬33年ぶりという大雪になり、一面の銀世界の中をデイサービスマイクの送迎車がゆっくりと早くから動いていました。我が家にも2人の介護認定者がいますが、いざというときの対応を常に考えて行動しなければと改めて考えさせられました。

黒田 正
今冬も大雪の日がありました。雪解け水や雨は、多少の汚れなどを流してくれます。でも無造作に捨てられたゴミは、流されてもいつまでもゴミとして残ります。景観やマナーの面からみて残念なことです。そして、それを黙って処理する人がどんな気持ちで行っているか考えてください。

仁井美智子
初めて「防災士」という資格がある事を知り、お会いしお話を聞く事が出来ました。近年日本全国どこで発生するかもしれない自然災害。常日頃の備えと心構えを改めて教えていただき、すぐに自分で出来る備えをしなければと反省し、万一の備えを实践しようと思います。

田川貴志子
今号の特集「防災士」いかがでしたか。資格を取るにはなかなかハードルが高そうですが、資格がなければ防災について何もできないというわけではありませんよね。災害が起こったとき必ず命が助かること、それから数日間を生き延びること。日頃から準備していれば、きっとだいじょうぶ。「まさかここで起こるとは」と思わないのが第一です。

真心に感謝

次の方々より心のこもった浄財をいただき、感謝を申し上げます。

(平成28年8月26日～平成29年2月28日現在)

「香典返しに代えて」

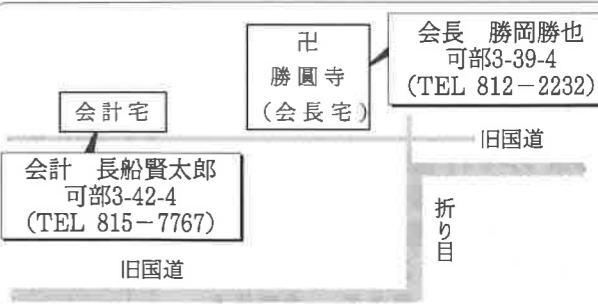
- 松田美代子 様 可部3丁目
- 加藤 正則 様 可部4丁目
- 木戸 房男 様 可部7丁目
- 池田 信義 様 可部5丁目
- 佐々木恒彰 様 可部1丁目

「一般の寄付」

- 品窮寺仏教婦人会 可部2丁目
- 井坂 房子 様 可部6丁目

皆様へのお願い

可部地区社協は、「弔事規定」により、香典返しの生活改善運動の推進と新たな財源探しに務めております。平成六年より、地区住民の弔事に際して、可部地区社協より香料二〇〇〇円をお供えし、哀悼の意を表わしております。実施に当っては、町内(自治会長様に香典を立替えていただき、領収書と会葬礼状をもって会計室にご請求いただくこと)にしておりません。皆様へのお願いと致しまして、生活改善運動として、典返しに代えてのご寄付を可部地区社協まで宜しくお願い致します。寄付金は可部地区社協会長宅に持参いただくか、連絡をいただければお伺い致します。



「あげぼの」バックナンバーを探しています

地区社協では、「あげぼの」のバックナンバーを探しています。1号～41号、44号、45号、50号、52号、61号～64号、69号、70号、75号、76号、92号、103号です。皆様のご協力をお願いいたします。連絡先 りんりん可部



防災士の資格を取ろうと思っただきつかけは?

「東日本大震災のとき、海外に滞在していて、勤務中に現地の人から『日本が沈没している』とスマートホンで画像を見せられました。そのとき、自分は海外で何をしていたのだろうと思いがこみ上げてきました。それから、定年退職をしたこともあり、社会活動をするようになり、昨年4月から可部学区自主防に入らせていただき、防災士の養成の話を町内会長から

勧められ、ならやってみようというので。今、地震や、土砂災害時の地域の避難計画や、備え、さまざまな訓練などの企画、実施、ノウハウづくりを、町内会で行っています。地域の防災リーダーとして、頼もしい川本さん。緑ヶ丘二区では、さまざまな災害を想定して、避難経路、災害の規模、避難場所の設定などを進めています。緑ヶ丘二区の町内会長

水場さんや、川本さんらは、自分たちのノウハウを、他の町内会、自治会にもぜひ役立ててほしいと話してくれました。今災害は決して他人事ではありません。これからどんどん可部に防災士が増え、いくことを期待したいですね。

川本さんに聞きました!

可部で私たちがやっておかなければいけない3つのポイント!

ポイント1 地震は来る!

今、地震はいつ来るかわかりません。こうして話している1分後に来るかもしれない。想定されている南海トラフ地震では、広島へ地震発生から50秒くらいで到達する可能性があります。スマートホンやテレビなどの地震警報があったら、すぐ避難。自宅や、寝室から何秒で外へ出られるかをチェックして下さい。

ポイント2 トイレが使えない!

南海トラフ地震の場合、可部で一番困るのが下水道です。広島市の危機管理室に問い合わせたところ、吉島の下水の最終処理場がだめになるから、下水が使えなくなるというのでした。つまりトイレが流せません。災害用のトイレパックを最低でも一週間分、できれば30日分の用意をしておきたいものです。

ポイント3 非常食の確保

状況にもよりますが、災害時の食糧は最低3日分、できれば一週間分は確保したい。スーパーの非常食コーナーなどでは、たくさん非常食が売られています。でも非常食にこだわることはありません。自分が食べられそうなもの、好みの食糧を少し多めにストックしておく事から始めたらいいですね。



備えておきたい非常食。飲料水、水を入れるだけで食べられるご飯や、缶詰のパンなど、さまざまな非常用食品があります。

防災士になるには

防災士養成講座受講希望者は、学区自主防災会連合会長の推薦を受け、受講申し込みを行います。受講決定通知書、テキスト、事前レポート学習が送られてきます。事前学習の期間に、普通救命講習Ⅰ(心肺蘇生法やAEDの使用法)を習得し、事前レポートを提出。その後、2日間の講座を受講し、最後に資格試験に合格すれば、あなたも防災士!

本来受講には6万円くらいの費用がかかるのですが、平成32年度までは広島市が行うため無料です。防災士に興味のある方は今がチャンスです。

可部地区社協は地域のさまざまな団体が所属し活動しています。そんな各種団体をシリーズでご紹介します。

第3回 可部学区(希望)ゆめクラブ連合会



可部学区(希望) ゆめクラブ 可部小学校区内 学区長 延吉光雄さん 74歳になり、後期高齢者の仲間入り後一歩と笑われます。可部地区の多くの団体の役員を兼務され、忙しい日々。

布され、今日に続いているのです。ともすれば家庭や社会から疎外され、孤独に陥りがちな高齢者の親睦の場として始まったこのクラブは、今日では、自分たちの健康は自分たちの手で護る取り組み(病にかからぬ運動)を全国的に推進し、寝たきりや一人暮らしの高齢者を対象とする組織としての計画的な動き(友愛活動)、安否確認や話し相手、生活を手助けする家事援助や在宅福祉を支えるなどの活動に取り組んでいます。

平成22年に、60歳に入会を勧めてもまだ若いからとの返事に、若い方に希望を寄せて(希望)ゆめと読み替えて、可部地区(希望)ゆめクラブ連合会と名称を改正しました。平成25年には、若手委員会の設立も、会員増強に期待して新たなプロジェクトも提案されています。今日の高齢社会で、高齢者の社会に果たす役割はますます期待されています。

私たち(希望) ゆめクラブは、高齢者が生き生きと暮らせ、地域に貢献していく活動をしています。ぜひ60歳になられたら、会員となり、共に活動をしていきましょう。

可部学区(希望)ゆめクラブ連合会は、現在、8単位クラブ戸数493軒、会員数615名で活動しています。上層部には、可部地区(希望)ゆめクラブ連合会、安佐北区老人クラブ連合会、広島市老人クラブ連合会、全国老人クラブ連合会があり、設立は戦後すぐと長い歴史があります。全国老人クラブの設立と、老人福祉制度の確立で、昭和41年には、国民の祝日『敬老の日』が公

ちょっと待った!! そのゴミそこに捨てていいの?

最近の困ったゴミ事情



ゴミ箱の中のゴミ。ゴミ箱に収まっているときはいい方で、山盛りにあふれていることも時にはあるとか。「誰が片付けているのか、ゴミを持ってくる人には考えてほしい」

人通りの多い場所に設置されたゴミ箱の整理をされている地域の方から、最近のゴミについてちょっと困った声が寄せられました。毎回業務用のゴミ袋に分別してゴミを入れていくのですが、その捨て方のマナーの悪さが目に余るというのです。空きビン、食べ残しの食品、明らかにそこで発生したとは思えない、ゴミの山。あるときは破れた下着まで! 「どうして家庭のゴミを持ってくるの!」という怒りの声もごもっとも。広島市のゴミ分別方法は細かく分かれ、

ご近所さんの嘆き

ああーまた:コンビニの袋に分別されていないゴミがぼつんと置かれて。通り道のほとりに、場所を変えながらである。そのままにしておけば、カラスがつついて散乱してしまふ。こんな場所に置かなくても、収集場所まで持って行けばいいのにと。ゴミの収集日を知らないのかな? 若い人? それとも? 誰かが片付けてくれるだろうという甘い考え方はやめてほしいものだ。そして、今日も、道ばたに置かれたゴミを持ち帰る。

● 社協よりお知らせ 救急医療情報キット配布!

救急車を呼んだ時や緊急時、飲んでる薬や、かかりつけ医院、持病の情報などをシートに記入し、迅速に対応してもらおうための「救急医療情報キット」を希望する方に配布しています。地域の福祉委員さんにご連絡いただくか、可笑屋でも申し込みできます。



1組150円(ボトル、カード、ステッカー) キットをお持ちの方も、情報シートが古くなっていますか。新しい用紙をお配りします。福祉委員さんへお知らせください。

ボランティアバンク りんりん可部

りんりん可部では、日常のちょっとしたお困りごとのお手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。

● ボランティア援助のお問い合わせ ボランティア希望登録のお申込み りんりん可部事務局

☎ 082-847-5509 FAX 082-815-0756

住所 広島市安佐北区可部 3丁目34-1

可笑屋(かわらや)2階 受付 毎週火曜日、木曜日

10:00~12:00

13:00~15:00

祝日、盆休み、年末年始を除く